



## 黄金色の稲穂を眺めながら

沼尻軽便鉄道跡などウォーキング



白津駅の改札を通る参加者ら

「第14回懐かしの沼尻軽便鉄道を訪ねて」ウォーキングイベントは9月29、30日の両日、旧路線跡などで開催されました。参加者は黄金色になった稲穂を眺めながら思い思いのペースで歩き、心地よい汗を流しました。

町商工会青年部などで作る実行委員会が主催したこのイベントには、約200人が参加。30日には川桁駅から中ノ沢温泉までの約18<sup>キロ</sup>の旧路線跡を歩きました。終点では、宿泊券や温泉入浴券などが当たる抽選会、民話の語り、手打ちそばや豚汁などの振る舞いなどで参加者のゴールを祝い、好評を博しました。

## 地域で楽しむスポーツの秋

町民球技大会で猪苗代一が決定！



写真は、山湯対今泉の対戦。序盤の猛攻と堅い守備で山湯が勝利。最後はホームベース上のクロスプレーを制し、1点差で逃げ切りました



写真は、扇田対名古屋町の対戦。2-0で扇田が勝利。2セットともデュースにもつれ込む接戦でした

町民球技大会の中央大会は9月9日、町運動公園とカメリーナで開催されました。ソフトボール、バレーボールの白熱した好ゲームの様子を写真で紹介します。成績は学びの泉をご覧ください。

## 日本一過酷な道のりに挑戦

磐梯高原猪苗代湖マラソンを開催



早朝5時、100<sup>キロ</sup>、65<sup>キロ</sup>コースのスタート

第7回磐梯高原猪苗代湖マラソン(磐梯高原ウルトラマラソン)は9月8日、町内のホテルリステル猪苗代をスタート・ゴールとし、猪苗代湖周辺を走るコースで開催されました。

猪苗代湖を1周半回る100<sup>キロ</sup>、1周する65<sup>キロ</sup>、郡山市の舟津公園で折り返す42.195<sup>キロ</sup>、同公園からリステルまでの21.0975<sup>キロ</sup>の4コースに合わせて1500人以上が参加。日頃のトレーニングや健康づくりなどで鍛えた自慢の健脚を競いました。

参加者たちは、猪苗代湖や磐梯山の風景を眺めながら、思い思いのペースでゴールを目指しました。

## のど自慢が練習の成果競う

会津磐梯山全国大会が開催される



日ごろの練習の成果を発揮し、熱唱する参加者

福島県を代表する民謡として、全国の人に親しまれている会津磐梯山の全国大会は9月9日、学びいなで開かれました。

28回目となる今年の大会には、ジュニア、青年、壮年、高年の4部門に合わせて約70人が出場。日ごろ鍛えた自慢ののどを披露し、会場を訪れた聴衆を魅了しました。

ゲストとして、前年度優勝者や日本舞踊の内海流道京会(うつみりゅうみちきょうかい)の皆さんなどが出演し、会場に花を添えました。

この大会には町内から7人が参加。壮年の部に出場した半澤幸一(はんざわこういち)さん(下館)が入賞を果たしました。

## 高齢者の長寿と健康を祝う

カメリーナで敬老の集い催される



85歳を迎えた人の代表者に、座布団が手渡されました

24年度の町敬老の集いは9月10日、カメリーナで開催されました。町内の70歳以上の高齢者が招待され、そのうち731人が出席しました。前後公町長、宇月静子町婦人連絡協議会長があいさつした後、今年85歳を迎えた人たちに、記念品の座布団が手渡されました。出席者を代表して、戸田忠義町老人クラブ連合会長が謝辞を述べました。

その後、開催された演芸では、猪苗代幼稚園、猪苗代保育所や町婦人連絡協議会の皆さんなどが歌や踊りを披露。出席した皆さんの長寿と健康を祝いました。

## 猪苗代の芸能を高遠で披露

川桁謡真鼓楽会が交流都市で演奏



熱い演奏を披露する川桁謡真鼓楽会の皆さん

川桁謡真鼓楽会(神トシ子会長)が参加した「高遠城下まつり」は9月1日、長野県伊那市の高遠町で開かれました。

本町と旧高遠町(合併により現在は伊那市)は、保科正之公の縁で平成16年に親善交流を宣言。以来さまざまな交流事業などを実施しています。

「猪苗代の郷土芸能を披露してほしい」と招待を受けて参加した同会の会員12人は、メインステージで5曲を披露。残暑厳しい中、熱い演奏を披露した皆さんに、会場からは温かい拍手が送られました。



## 町の代表が接戦繰り広げる

市町村対抗県軟式野球大会で惜敗



猪苗代町チームの選手の皆さん。善戦しましたが、あと1本が出ず惜しくも敗れました。



4番の安藤雄一選手。7回にはライト前ヒットを放ちました

第6回市町村対抗県軟式野球大会は9月9日、福島市のあづま球場で1回戦が行われ、猪苗代町チームが田村市と対戦しました。結果は2対0で惜しくも敗れました。選手の皆さんお疲れさまでした。

## 児童の交通事故を防ぐため

J A あいづが交通安全教材を贈呈



土屋教育長(左)に教材を手渡す佐藤常務理事(右)

町内6小学校への交通安全教材贈呈式は9月19日、町役場で行われ、交通安全教育DVDが各校に寄贈されました。

寄贈は、かねてから交通安全活動などを展開しているJA あいづによるもので、式には佐藤公常務理事と鈴木清信共済担当次長が出席。佐藤常務理事が「学校の交通安全教育のために役立ててください」と土屋重憲教育長に教材を手渡しました。

土屋教育長は「貴重な教材をありがとうございます。活用して今後も児童の安全確保に努めていきます」とお礼の言葉を述べました。

## 今までの感謝の思い込めて

安部春男さんが町に車いすを寄贈



(左から) 前後町長、安部幸子さん、春男さん

安部春男さん(山潟)と妻の幸子さんは9月24日、町役場を訪れ、車いす1台を町に寄贈しました。

春男さんは「先輩方をはじめ、今まで町民の皆さんにはいろいろとお世話になりました。皆さんの福祉向上のために使ってください」と前後町長に車いすを渡しました。

前後町長は「善意をありがとうございます。早速活用させていただきます」とお礼を述べました。

この車いすは、町役場の正面玄関に置かれ、来庁者のために使われています。

## 五輪選手らが小学生を指導

バレーボールエイドが開催される



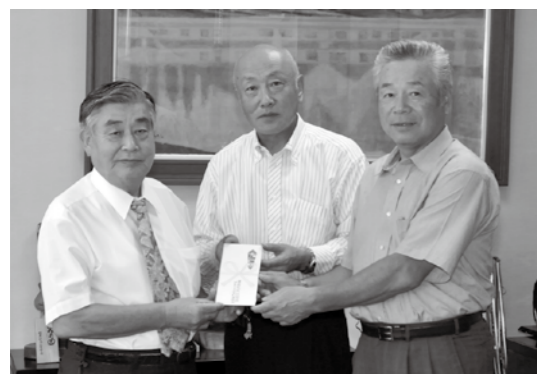
一流選手から指導を受ける小学生たち

ロンドン五輪バレーボール女子日本代表の新鍋理沙、狩野舞子両選手が所属する久光スプリングスなどを招いた「バレーボールエイド 2012in 猪苗代」は9月23日、カメリーナで開催されました。

当日は久光スプリングスと上尾メディックスのエキシビジョンマッチが行われたほか、バレーボール教室も開かれ、招待を受けた約230人の小学生が指導を受けました。本町からはカメリーナスポーツクラブの子どもたちがこの教室に参加。閉会式では選手らにお礼の言葉と花束を贈りました。

## 震災からの復興に役立てて

町民ゴルフ実行委員会が町に寄付



善意を手渡す渡部実行委員長(中)と阿部副委員長(右)

町民親善ゴルフ大会実行委員会は9月14日、東日本大震災からの復興のためにと、町に20万円を寄付しました。

寄付された浄財は、8月26、27の両日、猫魔ホテル猪苗代ゴルフコースで開催された大会の参加者から寄せられた善意と会費の一部。贈呈式は町役場で行われ、渡部一男実行委員長と阿部吉作副委員長が前後町長に手渡しました。

前後町長は「善意をありがとうございます。復興のために有効に使わせていただきます」とお礼の言葉を述べました。

## 教育施設の環境向上のため

ビルドの会が町内教育施設を補修



猪苗代幼稚園で作業する会員の皆さん

町内の建設業者などをつくる猪苗代ビルドの会(佐藤好市会長)は9月26日、町内の保育所、幼稚園や小中学校で、補修作業ボランティアを実施しました。

この活動は、同会の恒例行事となっており、今年で15回目を迎えました。当日は、作業に先立ち出発式を開催し、その後、作業内容や行程を確認、3グループに分かれて各施設へ出発。補修などの軽作業やテーブルの製作などをしました。子どもたちは、その鮮やかな手つきに目を奪われ、遊ぶことをやめて見入っていました。